

第2 実践事例

事例1 問題解決的な学習の充実を図り、主体的・対話的で深い学びの実現を図る事例

- 学年 第5学年
- 主な領域 内容(3)ア(ウ)・イ(ウ) 貿易や運輸
- 事例のポイント
- ①問題解決的な学習を充実させることで、児童に概念的知識を身に付けることができるようにする。
 - ②「学習のまとめシート」を学習の見通しと学習の足跡として活用することで、児童の思考を深めることができるようにする。
 - ③ICT端末のデータ共有機能を活用することで、児童の対話的な学びの活性化を図る。

1 小単元名 「工業生産を支える貿易と運輸」(6時間)

2 小単元について(略)

3 小単元の目標と評価規準

(1) 目標

我が国の工業生産について、交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめることで貿易や運輸の様子を捉え、それらの役割を考え、表現することを通して、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①交通網の広がり、外国との関わりなどについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、貿易や運輸の様子を理解している。 ②調べたことを表にまとめ、貿易や運輸は、原材料の確保や製品の販売などにおいて、工業生産を支える重要な役割を果たしていることを理解している。	①交通網の広がり、外国との関わりなどに着目して、貿易や運輸の現状や課題と今後の取組について考え、表現している。 ②工業生産と貿易や運輸の働きを関連付け、貿易や運輸の役割を考え、適切に表現している。	①工業生産における貿易や運輸について、学習問題や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

4 小単元の指導計画・評価計画(6時間)

過程	○主な学習活動 ・学習内容	【評価の観点】内容(方法) ※網掛けは評価した結果を記録に残す場面	資料等
つかむ	①船や港、空港などの写真資料から、工業に関わる貿易について話し合い、運輸との関連をもとに、学習問題と学習計画を立てる。	事例のポイント① 既習事項と貿易や運輸への児童の疑問を結び付けて、学習問題を立てる。 【態①】 工業生産における貿易や運輸につ	・船、港、 空港

つ か む 調 べ る	<ul style="list-style-type: none"> 自動車工業の輸送手段 工業製品が輸送される船や港、空港の様子 	いて、学習問題や学習計画を立て、解決しようとしている。 〈発言・学習のまとめシート〉	(写真) ・工業製品の輸送手段に関する DVD 食料品に関する原材料の輸入先 (表・グラフ) ・学習のまとめシート
	学習問題 日本の工業生産にとって、貿易や運輸には、どのような役割があるのだろうか。		
	②トラックターミナルなどの写真資料や交通網の広がりを示した図から、工業製品がどのような輸送手段で運ばれるかについて調べ、日本の運輸の特色について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> トラックターミナル周辺の交通の様子 工業製品を運ぶためのトラック、鉄道、船、飛行機などの輸送手段 	【知・技①】 必要な情報を集め、読み取り、工業生産における様々な輸送手段の働きについて理解している。 〈発言・学習のまとめシート〉	<ul style="list-style-type: none"> トラックターミナル (写真) 日本の交通網 (図) 学習のまとめシート
	事例のポイント② 小单元を通して「学習のまとめシート」を活用し、児童が学習内容を把握し、学習問題を解決するための情報を共有できるようにする。		
編 P49 指導計画作成の留意事項(6)			
③日本の貿易の輸入について、輸入額や輸入品の変化、輸入相手国などを調べ、日本の輸入の特色について考える。 <ul style="list-style-type: none"> 年々増加する輸入額 原材料や燃料、食料など中心の輸入品 主にアジア地域から多く輸入される安価な工業製品 	【知・技②】 調べたことを学習のまとめシートにまとめ、日本の輸入の特色について理解している。 〈発言・学習のまとめシート〉	<ul style="list-style-type: none"> 輸入額や輸入品の変化、主な輸入品の相手先 (表・グラフ) 学習のまとめシート 	
編 P49 指導計画作成の留意事項(6)			
④日本の貿易の輸出について、輸出額や輸出品の変化、輸出相手国などを調べ、日本の輸出の特色について考える。 <ul style="list-style-type: none"> 年々増加する輸出額 輸出品の多くは自動車や集積回路などの高い技術が必要な工業製品 輸出取引先の多くは米国や中国 海外での現地生産の増加 	【知・技②】 調べたことを学習のまとめシートにまとめ、日本の輸出の特色について理解している。 〈発言・学習のまとめシート〉	<ul style="list-style-type: none"> 輸出額や輸出品の変化、主な輸出品の相手先 (表・グラフ) 学習のまとめシート 	

まとめる	⑤日本の貿易に関する課題について調べ、話し合う。 ・工業製品の原材料や燃料、食料などを輸入に頼っていること ・海外の現地生産の増加に伴って生じる国内産業の空洞化 ・輸入に不安があること（災害や事件等）	【思・判・表①】 これまでの学習をもとに、外国との関わりなどに着目して、貿易が抱える課題について考え、表現している。 〈発言・学習のまとめシート〉	・日本の貿易額の変化（表） ・学習のまとめシート
	⑥日本の工業生産における貿易や運輸の役割についてまとめ、学習問題の結論を導き出す。（本時） ・日本の工業生産における貿易や運輸の役割	【思・判・表②】 貿易や運輸が工業生産に果たす役割についてまとめ、学習問題の結論を考え、適切に表現している。 〈発言・学習のまとめシート〉	・学習のまとめシート
	事例のポイント② 「学習のまとめシート」を基にして話し合うことで、問題解決のための比較・関連付けを促し、児童間の対話の活性化を図ることで、思考を深めさせる。		
	学習問題の結論 貿易には、輸入によって日本で確保が難しい原材料や日本より安く生産される工業製品を買ったり、輸出によって高い技術で作られた日本の製品を売ったりするなどの役割があり、運輸には、輸送手段を組み合わせることで目的地に原材料や工業製品を届ける役割がある。 日本の工業生産にとって、貿易と運輸はなくてはならない重要な役割を果たしている。		


5 本時の学習指導（6／6時間）

(1) 目標

学習してきたことを基に、日本の工業生産における貿易や運輸の役割についてまとめることを通して、学習問題の結論を考え、適切に表現することができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

(2) 展開

主な学習活動	・学習内容	・指導上の留意点	評価	〈方法〉	資料等	時間
1	前時までの学習を振り返り、本時の課題（学習問題）をつかむ。	・「学習のまとめシート」を確認する。				1
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習問題 日本の工業生産にとって、貿易や運輸には、どのような役割があるのだろうか。 </div>						
2	「学習のまとめシート」を基に、運輸の役割について考え、グループで話し合い、発表する。 ・運輸が果たす役割	・トラックターミナルの写真などを提示することで、輸送手段について学んだことを想起できるようにする。			・トラックターミナルの写真	9
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事例のポイント② 「学習のまとめシート」を基に、運輸の特色に着目させ、日本の工業生産にとって、どのような役割を果たしていたか、考えさせる。 同様に、学習活動3では、輸入と輸出の特色に着目させる。 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 事例のポイント③ ICT端末のデータ共有機能を利用して、グループごとの考えを大型テレビに映して学級全体で共有する。 </div>				
3	「学習のまとめシート」を基に、輸入と輸出の役割について考え、グループで話し合い、発表する。 ・輸入、輸出が果たす役割					15
						

<p>4 自分なりに学習問題の結論について考え、文章で表現する。</p> <p>5 学級全体で学習問題に対する結</p>	<p>評 貿易や運輸の役割についてまとめることを通して、学習問題の結論を考え、適切に表現している。</p> <p>【思・判・表②】〈発言・学習のまとめシート〉 ⇒B規準に達しない児童への支援方法 「学習のまとめシート」にある輸入・輸出・運輸について、それぞれの項目にあてはまる重要な言葉を使ってまとめるように助言する。</p>	<p>10</p> <p>5</p>
<p>学習問題の結論 貿易には、輸入によって日本で確保が難しい原材料や日本より安く生産される工業製品を買ったり、輸出によって高い技術で作られた日本の工業製品を売ったりする役割があり、運輸には、輸送手段を組み合わせることで目的地に製品や原材料を届けるなどの役割がある。 日本の工業生産にとって、貿易や運輸はなくてはならない重要な役割を果たしている。</p>		
<p>6 本小単元の学習を振り返る。</p>	<p>・「貿易や運輸が工業生産を支えていること」や本時や単元を通しての「自分の学び」について、具体的に記述することで、振り返ることができるようにする。</p>	<p>5</p>

6 板書計画

学習問題 日本の工業生産にとって、貿易や運輸には、どのような役割があるのだろうか

	役割	
輸入	・日本で確保が難しい原材料を買う ・日本より安く生産される工業製品を買う	} 貿易
輸出	・日本で生産した工業製品を売る ・高い技術で作った工業製品を売る	
運輸	・日本全国に原材料や工業製品を届ける ・目的や条件によって輸送手段を組み合わせる	

学習問題の結論
貿易には、輸入によって日本で確保が難しい原材料や日本より安く生産できる工業製品を買ったり、輸出によって高い技術で作られた日本の工業製品を売ったりするなどの役割があり、運輸には、輸送手段を組み合わせることで目的地に原材料や工業製品を届ける役割がある。
日本の工業生産にとって、貿易や運輸はなくてはならない重要な役割を果たしている。

7 事例のポイントと考察

(1) 事例のポイントについて

ア ①問題解決的な学習を充実させることで、児童に概念的知識を身に付けることができるようにする。

本事例では、貿易や運輸に対する児童の疑問や予想などを大切にしつつ、「つかむ」過程において単元の学習問題と、「調べる」過程において1時間ごとの学習課題を設定した。その際、単元の学習問題を解決するために予想をさせ、その予想を1時間ごとの学習課題へと位置づけることとした。1時間ごとの学習課題の追究を積み重ねていき、最終的に単元の学習問題の結論を導き出す問題解決的な学習過程となるようにした。具体的には、第①時において、工業製品の輸送手段に関するDVDの視聴、食料品（パンや麺類など）に関する原材料の輸入先のグラフや表などの資料の読み取りを通して、児童の疑問や予想を整理しつつ、学習問題を設定していった。ここでは、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を図りつつ、児童にとって貿易や運輸という社会的事象を具体的に、かつ、身近なものであると捉えさせ、最終的に、我が国の工業生産における貿易や運輸の働きという抽象的な概念的知識を獲得させていこう

と考え実践した。

実際の授業では、第②・④時の児童の振り返りに、自動車をはじめとする様々な輸送手段のよさや、様々な国々と様々な輸出入品を貿易していることなどについての記述が見られた。

<p>【児童の振り返り「貿易」】</p> <p>日本は、石油をはじめとする燃料や原料のほとんどを輸入に頼っていたり、輸出では、現在の輸出品で輸出額が最も多いのは機械製品で、その額は世界でトップクラスであったりすることが分かった。</p> <p>私は、貿易が止まってしまったら、日本では必要なものを手に入れられず困ってしまうと思った。</p>	<p>【児童の振り返り「運輸」】</p> <p>運輸に関する施設にはトラックターミナルや空港があり、輸送手段としてトラックや鉄道、船などが使われていることが分かった。国内外の交通網を生かした運輸が行われていて、それぞれの輸送手段の長所を生かしている。</p> <p>私は、道路という交通網を生かしているから、自動車が一番使われていると考えた。</p>
---	--

第②～⑤時において学習課題の追究を積み重ね、第⑥時に学習問題の結論を導き出すことができた。児童は、貿易や運輸の役割についての理解を深め、より抽象的な概念的知識を獲得することができた。

イ ②「学習のまとめシート」を学習の見通しと学習の足跡として活用することで、児童の思考を深めることができるようにする。

本事例では、「学習のまとめシート」を活用し、学習の見通しといった視点から、単元全体の学習に見通しをもてるようにシートの構成を工夫した。また、学習の足跡といった視点から、「調べる」過程において1時間ごとの学習課題の追究で分かったこと、考えたことを記述、蓄積させていった。

第2時

トラックターミナルなどの写真資料や交通網の広がりを示した図から、工業製品がどのような輸送手段で運ばれるかについて調べ、日本の運輸の特色について話し合う。

工業生産を支える運輸と貿易 学習まとめシート 名前 _____

学習問題			
輸送手段	持ちよう	運輸の特色	運輸が果たす役割
自動車(トラック)		→	
鉄道			
船			
飛行機			

第4時

日本の貿易の輸出について、輸出額や輸出品の変化、輸出相手国などを調べ、日本の輸出の特色について考える。

第3時

日本の貿易の輸入について、輸入額や輸入品の変化、輸入相手国などを調べ、日本の輸入の特色について考える。

輸入	輸出		
	金額		金額
	品目		品目
	相手国		相手国
	特色		特色
	役割		役割

第6時

日本の工業生産における貿易や運輸の役割をまとめることを通して、学習問題の結論を考える。

第5時

日本の貿易に関する課題について調べ、話し合う。

貿易に関する課題①		貿易に関する課題②	
貿易に関する課題③		貿易に関する課題④	

学習問題の結論

貿易には _____

運輸には _____

日本の工業生産にとって、 _____

学習の足跡としては、例えば、貿易（輸入と輸出）について、表の形式で、(1)輸出入額、(2)輸出入品、(3)輸出入相手国といった項目ごとに整理をさせ、比較・分類したり、総合したりして考え、思考を深められるようシートの構成を工夫した。

第③・④時において、貿易（輸入と輸出）について上記の項目ごとに表に整理をし、第⑤時において、貿易（輸入と輸出）に関する課題を整理していった。その後、第⑥時では、これまでに一人一人が整理した「学習のまとめシート」を持ち寄り、小グループで学び合い、貿易（輸入と輸出）の役割について考えていった。

一方、「学習のまとめシート」の活用は、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を図ることもねらいの一つである。

実際の授業では、第②時において、複数の輸送手段の特徴を調べ、運輸の特色について考え、文章で表現した。第③～⑤時において、一人一人が貿易（輸入と輸出）とその課題について表に整理し、貿易（輸入と輸出）の役割について考え、文章で表現した。

その後、第⑥時では、一人一人がそれを持ち寄り、小グループで学び合い、学習問題の結論として、貿易と運輸の働きについて思考を深めることができた。

ウ ③ ICT端末のデータ共有機能を活用することで、児童の対話的な学びの活性化を図る。

本事例では、児童の対話の活性化と情報共有の効率化を図ることで、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を図ろうと考え、「Microsoft Teams」のデータ共有機能を多くの場面で活用した。

第⑥時では、児童が自分の「学習のまとめシート」を土台にして小グループで話し合いを行い、結論をICT端末に入力させた。「Microsoft Teams」のデータ共有機能を使って全ての小グループの考えを大型テレビに映し出すことで、即時に情報共有することができた。学級全体で小グループの考えについて共通点や相違点を探し合いながら、児童の意見交流の活性化を図ることができた。

また、資料の提示にもICT端末を活用した。第②時では、工業製品の輸送手段について調べる際、「自動車」・「鉄道」・「船」・「飛行機」などについて各小グループに追究させるための資料を「Microsoft Teams」のデータ共有機能を活用し、提示した。児童は、輸送手段に関する資料を基に、効率的に追究することができた。

一方、教師にとっては、各小グループの資料の作成、印刷、配付などの作業がほとんどなくなり、効率的に指導することができた。

(2) 実践に当たっての留意点

本小単元のみならず、問題解決的な学習を充実させるためには、単元の目標と内容、そして、評価規準を踏まえた単元全体のデザイン（単元構成）を綿密に考えることが重要である。そこで、まず単元の学習問題と1時間ごとの学習課題を設定する際、児童の疑問や予想を活かしていくことを大切にしたい。また、「学習のまとめシート」を作成し、活用することとした。このシートは、学習の見通しといった視点から、単元全体の学習に見通しをもてるように構成を工夫し、学習の足跡といった視点から、「調べる」過程において1時間ごとの学習課題の追究で分かったこと、考えたことを記述、蓄積させていった。

これら2つの手立てによって、「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を図り、問題解決的な学習を充実させることは、大変重要であると考えている。

【参考】「学習のまとめシート」(B 4、記載例)

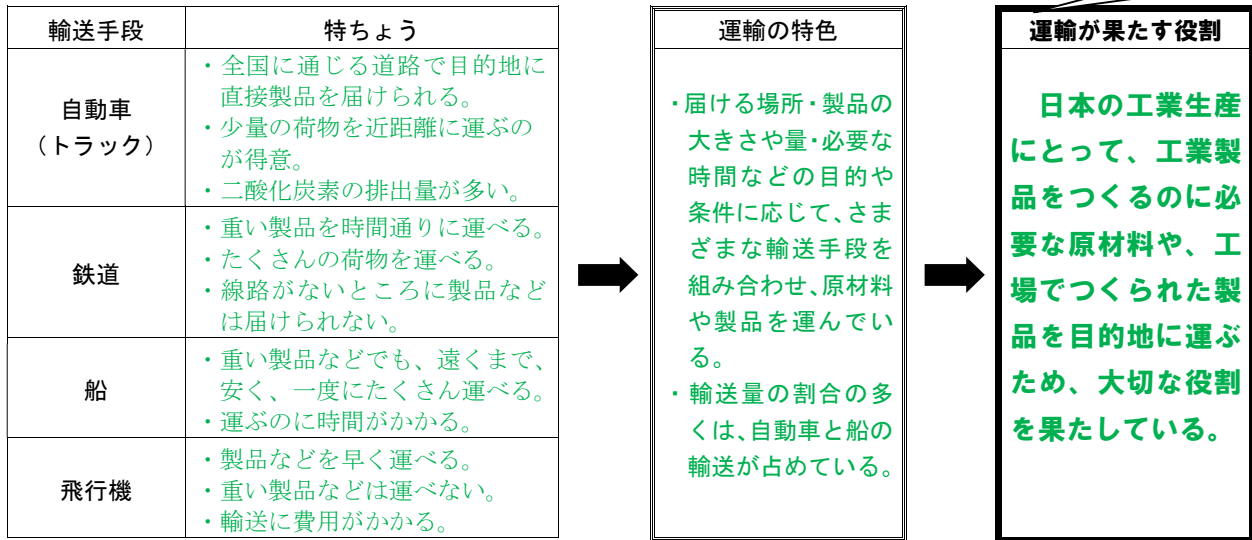
工業生産を支える運輸と貿易 学習まとめシート

名前 _____

学習問題 日本の工業生産にとって、貿易や運輸には、どのような役割があるのだろうか。

【第①時に記入】

【第②時に記入】



【第③時に記入】

【第④時に記入】

輸入		輸出	
<ul style="list-style-type: none"> ・輸入額は増えている (1962年から現在にかけ40倍以上) 	金額	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出額は増えている (1962年から現在にかけ50倍以上) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・原料などの燃料と機械類が多い 	品目	<ul style="list-style-type: none"> ・機械類や自動車などの機械製品が多い (合わせると60%以上) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・サウジアラビア、アラブ首長国連邦 (原油) ・アメリカ合衆国 (食料品や化学製品) ・インドネシア、マレーシア、オーストラリア (天然ガスや石炭) ・中国、台湾 (電気製品) 	相手国	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国 (自動車、機械類) ・中国 (機械類、化学製品) ・韓国、台湾、香港、東南アジアなどの近くの国々や地域との取引が多い。(精密機械) 	

<ul style="list-style-type: none"> ・日本で生産できない製品や日本より安く生産される製品を買っている。 ・あつかう金額は年々増加している。 	特色	<ul style="list-style-type: none"> ・高い技術が必要な製品を多く売っている。 ・アジアなど近くの国々との取引が多い。 ・あつかう金額は年々増加している。
--	----	--

<p>日本の工業生産にとって、工業製品の生産に必要な原材料や燃料、食料などを外国から買っている。</p>	役割	<p>日本の工業生産にとって、日本の工業をさらに発展させるため、高い技術で作られた工業製品を外国に売っている。</p>
---	----	--

【第⑤時に記入】

貿易に関する課題①	原材料やエネルギー資源を輸入に頼っている	<p>日本は、再生可能エネルギーの開発に加え、取引相手国を増やしたり、貿易相手国とよい関係を築いたりするなどの努力をしていかなければならない。</p>
貿易に関する課題②	海外での現地生産で国内産業の空洞化が起こる	
貿易に関する課題③	海外の災害や事件によって、輸出入が不安定になる	

学習問題の結論

【第⑥時に記入】

貿易には 輸入によって日本で確保が難しい原材料や日本より安く生産される工業製品を買ったり、輸出によって高い技術で作られた日本の工業製品を売ったりするなどの役割があり、
 運輸には 輸送手段を組み合わせることで目的地に原材料や製品を届ける役割がある。
 日本の工業生産にとって、貿易や運輸はなくてはならない重要な役割を果たしている。